全身用Ｘ線ＣＴ装置が新しくなります

13 年使用してまいりました 64 列ＣＴ装置から
新しく 80 列になります。

新装置イメージ

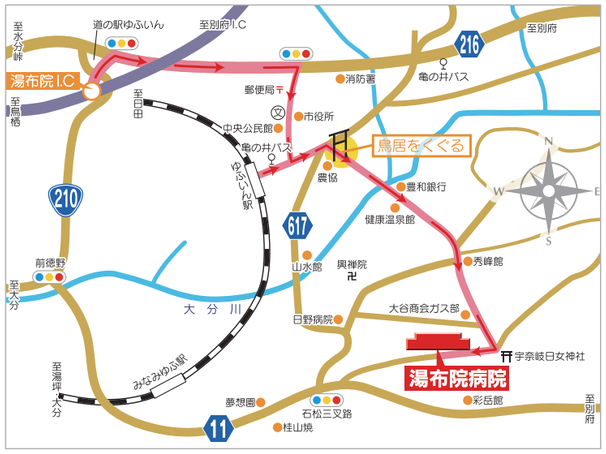
【新装置の特徴です】

1. **新しい技術により高画質・高速スキャンを実現**
2. **検査の被ばく量が大幅低減**
3. **人工関節等の金属ノイズ除去技術により画質向上**
4. **寝台が患者さんに優しい床から 35cmまで下がります**

新ＣＴ装置では検査時間を短く、画質が綺麗に、そして安全な検査が可能となります。
安心して検査が受けられますよう検査担当者がお待ちしております。

※新しいＣＴ装置は 2022 年 3 月 2 日からの運用開始になります。
2022 年 2 月 22 日午後から 3 月 1 日まで入れ替え作業のため検査対応できません。
大変ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力の程、お願い致します。

新型コロナウイルス感染症予防のため
正面玄関での体温測定と問診を
継続させていただいております。
今後も、ご協力のほどよろしくお願い
いたします。



Japan Community Health care Organization
独立行政法人 地域医療機能推進機構（JCHO）
湯布院病院

〒879-5193　大分県由布市湯布院町川南252
〈代　表〉
TEL:0977-84-3171・FAX:0977-84-3969
〈地域連携室直通〉
TEL:0977-84-5277・FAX:0977-84-5890
https://yufuin.jcho.go.jp
湯布院病院　検索

JCHO湯布院病院

JCHO 湯布院病院 季刊広報紙
Japan Community Health care Organization
Yufuin Hospital

ゆふいんだより

2022 新春号
2022年（令和4年）1月発行

新春ご挨拶

あけましておめでとうございます。4月より着任しました看護部長の濵田と申します。前任地は大分県佐伯市にある、南海医療センターにて勤務しておりました。同じ大分県内とはいえ、気候の違いに戸惑いながらも新年を迎えることとなりました。湯布院の冬の寒さとは反対に、周囲の方の温かさに助けていただいています。

湯布院は自然に恵まれ大好きな温泉もあり、以前から大好きな場所でした。季節により由布岳の景観も変わり視覚を楽しませてくれます。正面玄関からロビーにかけてホテルのような佇まいも、私のお気に入りです。このような景観を、立ち止まって見ていただけると幸いです。

新型コロナウイルス感染症の影響により、病院や地域の医療体制にも大きな影響を及ぼしています。長期療養を目的として入院される患者さんが多い当院でも、「面会制限」をせざるを得ない状況が続いております。湯布院病院では、職員一人ひとりが感染予防対策を行い、患者さんや、ご家族の不安が軽減できるような対応を行っております。このような状況下だからこそ、人と人とのつながりが大切です。看護部は理念として「その人らしさを専門的に支える信頼される看護」を掲げています。多職種との連携にて入院から地域に帰るまでの支援を行い、質の高い医療・看護を地域住民の皆様に今後も提供していきたいと思います。

さて2022年は壬寅（みずのえとら）だそうです。陰陽五行説では「陽気を孕（はら）み、春の胎動を助く」、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれることを表しています。このように希望溢れる一年になることを切に願いたいですね。今後感染が落ち着き、地域の皆様と院内外での行事などでお会いできることを、心より愉しみにしております。今後とも湯布院病院をよろしくお願いいたします。

JCHO（ジェイコー） 湯布院病院　看護部長
濵田　絵里

認定看護師の紹介

認定看護師は、看護師として5年以上の経験と各専門領域での実務経験が3年以上の者が試験を受けて認定看護師を養成する学校に入学し、6～8か月間の期間で講義や演習・実習を受けます。認定課程を修了後、試験に合格し、資格登録をして初めて認定看護師となります。

現在、湯布院病院には4名の認定看護師が各専門分野で活動を行っています。

それぞれの活動内容についてご紹介します。

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

佐藤　史

私は脳卒中リハビリテーション看護認定看護師の資格を持ち、現在は回復期リハビリテーション病棟で勤務しております。

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師には様々な役割がありますが私自身は脳卒中発症予防と発症後の再発予防のための患者さんやご家族への疾患指導はとても大きな役割だと考えています。さらに脳卒中を発症された患者さんやご家族へは身体面だけではなく精神面での支援も重要です。

現在コロナ禍ということで入院患者さんとご家族の面会が難しく、いかに患者さんの今の状態をお伝えしながら患者さんとご家族を繋ぐことができるのかは大きな課題でもありますが、患者さんやご家族に寄り添いながら様々な課題に取り組んでいきたいと思います。

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

長谷川　美帆

私は、2010年に脳卒中リハビリテーション（以下、リハ）看護認定看護師の資格を取得し、回復期リハ病棟に所属しています。

脳卒中の発症により機能障害を抱えた患者さんに対し、多職種で協働して日常生活動作の自立、生活の再構築に向けて支援を行っています。看護師に対しては、院内で高次脳機能障害やリハ看護などのテーマで研修会を開催しています。また、病態や障害部位を踏まえた上で、再発予防のための疾患管理や生活指導なども実践・指導しています。

今後も、患者さんが自分らしく生きがいのある生活を再構築できるよう家族も含めて支援し、その生活を継続できるよう再発予防にも努めていきたいと思います。

感染管理認定看護師

森本　麗華

はじめまして。令和２年よりJCHO九州病院から赴任いたしました感染管理認定看護師の森本と申します。昨年度は新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、日本国内においても感染者数が増加し、正面玄関での体温測定や、面会の禁止など病院環境が大きく変化しました。感染管理認定看護師として今回のような大流行は初めての経験でしたが、患者さんを感染症から守るため職員一丸となり取り組んでおります。

感染は目に見えないため、不安が先行してしまうこともありますが、「正しく知り」「正しく恐れ」「正しく予防」することが大切だと思っています。今後も安心して当院を受診していただけるよう精一杯努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

認知症看護認定看護師

秋吉　和恵

あけましておめでとうございます。認知症看護認定看護師の秋吉和恵と申します。湯布院で生まれ育ち、少しでも地域の方のお役に立てればとの思いで、令和元年に認定看護師の資格を取得しました。

現在は認定看護師として、認知症の人の症状に応じた対応や環境を検討し、提案する活動を行っています。

認知症の人は環境の影響を受けやすいと言われています。入院により、慣れ親しんだ人や物と離れることで、認知症の症状が強くなる方もいます。入院中の認知症の人が安心して過ごすことができ、ご家族にも安心していただけるような環境づくりに努めていきたいと思います。

新人看護師教育

令和3年度4月採用の新人看護師のみなさんに対して看護技術の習得を目的に、1年間を通して様々な研修を行っています。

感染防護具装着の演習

認知症看護研修でのグループワーク

手術室でのローテーション研修

配属された部署だけでは経験できない看護技術を習得することを目的として、他部署での研修を行っています。

初めて入室する手術室の様子に緊張している新人看護師も、先輩看護師からの丁寧な説明に耳を傾け、真剣な表情で研修に取り組んでいます。

現任教育

看護・介護のケアの質を高めるために新しい情報を収集し、学習しています。

排泄ケアの見直しに向けた研修会